



ロータリー2025～2026年度

**UNITE FOR GOOD**

**よいことのために手をとりあおう**

第2840地区 2025～2026年ロータリーのテーマ

**館林ロータリークラブ会報**

R.I加盟承認1958年6月2日

Club ID 13956

**2026年1月16日(金) 第3265回例会報告 (No. 23)**

点 鐘・ソング 奉仕の理想

— 会 長 挨拶 —



**本島 克幸 会長**

皆様、こんにちは。2026年を迎え、早くも半月が経過いたしました。本日も皆様の元気な顔を拝見でき、大変嬉しく存じます。さて、この時期は各団体の新年会が重なり、2月初旬まで多忙な日々が続く方も多いかと存じます。複数の会を梯子される皆様におかれましては、くれぐれもお体をご自愛ください。

先週は当クラブでも新年例会を開催いたしました。皆様と新春の慶びを分かち合い、今年度の活動に向けた決意を新たにすることができました。親睦活動委員会の皆様をはじめ、円滑な運営にご協力いただいた全ての会員に、改めて感謝申し上げます。

さて、年明け早々のニュースでは\*\*「台風1号」の発生\*\*が報じられました。1月の台風発生は、実はそれほど珍しいことではないそうですが、冬の乾燥が続く館林にいと、南の海の嵐には驚かされます。思わぬ天候の変化や災害への備えとして、皆様の事業所やご家庭でも、今一度安全管理にご留意いただければと思います。

こうした変化の激しい時代にあって、本日は私たちの仲間である会員企業の素晴らしいニュースを共有させていただきます。この度、正田醤油株式会社様が、2025年度「グッドカンパニー大賞」において優秀企業賞を受賞されました。この賞は、全国の中小企業の中

から、経営力の強化や技術開発、そして地域社会への貢献において著しい成果を収めた企業に贈られる、非常に名誉ある賞です。伝統を守りつつ革新を続ける正田醤油様の姿勢は、我々ロータリアンにとっても大きな学びであり、誇りでもあります。地域の一員として、心からお祝い申し上げます。

2026年は始まったばかりですが、気候の変動のみならず、政治の世界でも衆議院の解散など、社会情勢の動きが加速しています。こうした激動の時こそ、正田醤油様のような素晴らしい企業の背中を追いながら、我々館林ロータリークラブも「超我の奉仕」の精神を胸に、地域に根差した活動を力強く進めてまいりましょう。

本日も充実した例会となりますよう、よろしく願いいたします。

— お 客 様 の ご 紹 介 —



**館林地区消防組合 吉田 仁久 様**

— 会 務 報 告 —

**本島 克幸 会長**

R 8. 1. 9 (金) 新年例会  
於・ニューミヤコホテル館林  
参加者 本島 克幸・藤島 厚・飯塚 一成  
石川 長司・石倉 利昭・今泉 始宏  
上野 和路・大澤 孝司・毛塚 宏  
小池 和敏・小池 敏郎・小暮 高史

小暮 雅丈・小堀 良武・正田 隆  
 鈴木 誠・関井 宏一・関口 昇  
 関口 良幸・多田 善洋・田中 聡美  
 中世 吉昭・根岸 利正・野辺 昌弘  
 羽鳥 紫乃・帆足 秀司・堀越 貴之  
 堀越 丈礼・本間美儀男・松本 隆志  
 森田信一郎・矢島 孝昭・谷田川敏幸  
 山本 樹・横田 善次  
 米山奨学生 シェルパ・ニマ・テンディ

R 8. 1. 14 (水) (一社) 館林青年会議所  
 新年祝賀会  
 参加者 本島 克幸 於・ニューミヤコホテル館林

## 今後の予定

R 8. 1. 24 (土) 米山奨学生選考会  
 対象者 齊藤 一則 於・前橋問屋センター会館

R 8. 1. 24 (土) 地区補助金第1回予備  
 審査会  
 対象者 山本 樹 於・前橋商工会議所会館

R 8. 1. 25 (日) 第50回館林市子ども会  
 上毛かるた大会  
 対象者 本島 克幸 於・郷谷公民館

R 8. 1. 25 (日) 職業奉仕セミナー  
 於・前橋問屋センター会館  
 対象者 本島 克幸・藤島 厚・飯塚 一成

R 8. 1. 25 (日) 青少年交換委員会・派遣  
 候補生オリエンテーション  
 対象者 荒木千津子 於・ガバナー事務所

R 8. 1. 31 (土) 米山梅吉記念館研修旅行  
 於・米山梅吉記念館  
 対象者 齊藤 一則・米山奨学生  
 シェルパ・ニマ・テンディ

R 8. 2. 4 (水) 第3回公共イメージ・  
 ICT推進委員会  
 対象者 長柄 光則 於・ガバナー事務所

R 8. 2. 7 (土) 第4分区B IM  
 於・ニューミヤコホテル館林  
 対象者 本島 克幸・藤島 厚・飯塚 一成  
 石川 長司・石倉 利昭・上野 和路  
 毛塚 宏・小池 和敏・小池 敏郎  
 小暮 雅丈・小堀 良武・正田 隆  
 関井 宏一・関口 良幸・田部井孝一  
 長柄 純・長柄 光則・根岸 利正  
 松本 隆志・谷田川敏幸・山本 樹  
 横田 善次

R 8. 2. 14 (土) 地区チームラーニング  
 セミナー 於・前橋問屋センター会館  
 対象者 小暮 雅丈・宮内 敦夫

R 8. 2. 21 (土) DE I 推進委員会主催  
 会員意見交換会 於・オンライン

R 8. 3. 8 (日) RYLA研修会  
 於・高崎市労使会館

R 8. 4. 11 (土) 桐生南RC創立60周年  
 記念式典 於・美喜仁桐生文化会館  
 対象者 本島 克幸・藤島 厚

R 8. 4. 22 (水) 第4分区A・B9RC親睦  
 チャリティゴルフ大会 於・鳳凰ゴルフ倶楽部

R 8. 6. 2 (火) 現新会長・幹事会  
 於・太田グランドホテル

対象者 本島 克幸・藤島 厚・宮内 敦夫  
 小暮 雅丈・山本 樹・中世 吉昭

R 8. 6. 13 (土) ~ 15 (月) 親睦家族旅行  
 於・台湾

対象者 本島 克幸・飯塚 一成・上野 和路ご夫妻  
 毛塚 宏・小池 敏郎・関井 宏一  
 関口 良幸ご夫妻・堀越 貴之  
 山本 樹ご夫妻

## 一 幹 事 報 告 一



藤島 厚 幹事

1. 例会場・例会時間の変更
2. 会報、週報
3. その他

### ◆ガバナー事務所

#### ①RYLA研修会のご案内

【日 時】3月8日(日) 10:30~16:00 予定  
 【会 場】高崎市労使会館  
 【講 師】糸日谷美奈子氏  
 『東日本大震災体験談~助けられる人から  
 助ける人へ~』

【登録料】3,000円/人

【対象者】14歳以上から30歳の熱意ある若者  
 ・第2840地区各RC推薦の高校生  
 大学生・一般  
 ・インターアクト、ローターアクト、  
 ロータリアンのご家族  
 ・ロータリアンの企業にお勤めの方  
 ・米山記念奨学生

#### ②2026-27年度青少年交換委員会委員派遣の お願い

#### ③地区戦略計画委員会からのお願い

#### ④地区チームラーニングセミナーのご案内

【日 時】2月14日(土) 13:30~16:00  
 【会 場】前橋問屋センター会館  
 【対象者】小暮 雅丈

#### ⑤次年度ガバナー補佐名刺校正確認のお願い

### ◆(公財)ロータリー米山記念奨学会

- ①2025-26年度下期普通寄付金のお願ひ
- ②「ハイライトよねやま 310号」のご送付

▼全文は、こちらよりご覧ください。

[https://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight310\\_pdf.pdf](https://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight310_pdf.pdf)

◆安中ロータリークラブ/碓氷安中ロータリークラブ

→ 事務局移転のご案内

【移転日】 1月12日(月)

【新住所】 〒379-0131

安中市古屋333-1(榊並木内)

※両クラブとも電話番号、FAX番号、  
メールアドレス変更なし

— 委員会報告 —



出席委員会 小池 和敏 委員長  
例会出席報告

通算3265回例会

会員数	52名
出席率算出会員数	50名
出席者数	24名
欠席者数	26名
出席率	48.00%
前前回修正	73.58%~77.36%



ニコニコBOX委員会 石倉 利昭 副委員長

— ニコニコBOX —

☆本島 克幸会長 大変頂きました  
館林地区消防組合 吉田様、卓話ありがとうございます。

☆山本 樹副会長 頂きました  
館林地区消防組合、吉田様、今日は卓話、お願いいたします。

☆藤島 厚幹事 頂きました  
今日は館林地区消防組合の吉田様、卓話よろしくお願いたします。

☆小暮 高史会員 頂きました  
消防本部の吉田係長さん、ようこそ例会の講師としてご来訪いただき、ありがとうございます。ご父兄には大変ご指導いただきました。

☆長柄 純会員 頂きました  
久しぶりの例会出席です。今年もよろしくお願いたします。

☆根岸 利正会員 頂きました  
今日は館林地区消防組合より吉田様をお迎えでき、心よりお礼申し上げます。

☆森田信一郎会員 頂きました  
先週は入会5年の記念バッチをいただきありがとうございます。

☆小池 和敏会員 大変頂きました  
先週、入会5年の記念バッチをいただきました。今年50歳なので、あと50年在籍できるように頑張ります。

☆齊藤 一則会員 大変頂きました  
先週は出席できず、大変申し訳ございませんでした。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年12月で入会5年が経ちました。引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

☆安間 崇人会員 大変頂きました  
新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。また、吉田司令補、卓話よろしくお願いいたします。

— 卓話 —



プログラム・健康増進委員会 安間 崇人委員長



館林地区消防組合 吉田 仁久 様



皆様、こんにちは。館林地区消防組合、消防本部通信指令課通信指令第二係、係長の吉田仁久と申します。本日はこのような場所にお招きいただきましてありがとうございます。本日、ご依頼いただいている通信指令課がどのような仕事をしているのかと、その場所でどのようなことを行っているのかを皆様理解していただければと思ひまして、スライドを作ってきましたので、説明させていただければと思ひます。

まず、組合について館林地区消防組合と言ひまして組合組織となっております。管内は館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町の1市4町で構成されており、1市4町が組合になって運営する形となっております。消防本部署について、消防本部と消防署という2つの機能が一緒になっています。館林には西分署、北分署があります。各町には1個ずつ消防署があります。現在、消防職員が196名おりまして、うち女性が4名働いていただいております。本日の本題に入りたいと思ひます。通信指令課のお話をする前に、空白の9分というテーマをお話したいと思ひます。

空白の9分とは、各消防署で119が鳴り、救急車が現場に到着するまでに要する時間を言ひます。それが全国平均、9.4分平均でかかっています。この数値は年々伸びている傾向にあります。館林地区組合管内は8.6分で全国平均より早めに到着しています。本日はこの9分の間に消防署ではどのような対応をしているの

か、通信指令課がどのようなやり取りを通報者の方としてののかを知っていただければと思ひ、お話しさせていただきます。

まず消防の対応は、119番を受けることから始まります。まず皆様ご承知の通り、電話で119番を押せば出ます。館林消防署でいいますと1階にその施設があります。パソコン、モニターが沢山あり、パソコンでボタンを押すと電話に出たり、車両決定したりできる装置があります。この場所で何をするかをまとめました。まず119を私達に取ります。取りましたら何があったのかを通報者の方に質問をします。

救急なのか、火事なのか、まずそこがわからないと判断が出来ませんのでこれを最初に聞きます。通報で一番大切なことは、場所がどこかがネックになっており、とにかく場所がわからない。消防も警察も一緒ですが出動することができないのです。どんなことがあろうとも、場所を特定することを私達は一目散にやっています。

次に場所が特定できましたら、すでに出動になっておりますので、詳しい状況をゆっくり聞くことになっていきます。どのような内容なのか、交通事故なのか、どこを怪我しているのか。火事であれば、何が燃えているのかを聞くことになります。通話しながら、救急隊や消防隊に出動指令をかけています。要するに、私が119を取りまして通報者の方と話をしている間に、ボタンでどの車両とどの車両を出動してくださいという命令をかけています。その話を聞いているところで、大体数を追加したりしながら、出動する人たちは別の隊が消防署の下に待機していますので、その人たちは予告となります。そのところは後でご説明させていただきますが、聞かれたことに落ち着いて答えていただければ大丈夫なシステムとなっておりますので、ご安心いただければと思ひます。

次に事業者さん、工場、大きい会社さん、事前に申し出ただければ通報訓練ができます。消防本部の予防課、各消防署で受付しておりますので、従業員の方に通報訓練の機会があれば、消防署に言ひいただければ、受付することができます。何時何分に本物の119番をしてみたいと言ひいただければ訓練できますので、ご承知いただければと思ひます。

先程もお話ししましたが、通報においては、とにかく場所がどこかということが非常に重要になってきますので、それだけ覚えていただければと思ひます。今、

通報があったときは119番の位置情報を通信指令の部屋で取ることができます。パソコンに鳴った瞬間に固定電話であったり、IP電話の場合でも場所がピンポイントで地図に載ってきます。あまり心配なさらずに固定電話の場合は場所等すぐ特定できますのでご安心ください。最近多いのは携帯電話が汎用普及していますので、携帯電話の位置情報がONになっていないとGPSの位置情報が取れない状況になっていますので、皆様の携帯は必ず、ONにしてください。ONにしてくださいと自分が119番して倒れたとしてもそこに行くことができます。ONに入っていない場合ですと、GPSの位置情報は3000mから4000mの円が表示されます。この円の中にいますということになりますので、円の4000m内を捜索するのは凄く大変なことです。GPSが入っていると5~6mぐらいの範囲で表示されます。ですので、携帯電話の位置情報がONにしておいていただくと助かります。余談になりますが、発信前に184番をつけてると駄目ですかと質問を受けますが、184番をつけても携帯番号は全て通知されるようになっています。

続きまして、119番の通報件数ということでお話ししたいと思います。令和7年、年間約9000件、119通報がありました。携帯電話からの通報が約4900件、前年は4000件ぐらいでしたので、大分増えています。やはり携帯電話がどんどん普及してるとというのが手に取るようにわかる結果となっています。残りの4000件ぐらいは、IP電話と固定電話で半々ぐらいとなっています。種別は、火事なのか救急なのか救助なのかというものがあまして、殆どが救急になりますが、救急は年間7085件ということで、概算になりますが、1日30件弱ぐらいの救急がある計算になります。救急は本当に多く、火災の114倍とか救助の68倍ぐらいあまして、救急が今の業務のメインとなっています。

項目	件数	前年対比	備考
本日現在	60件		火災発生 18件、火災発生
前年同日	59件		火災発生 33件、火災発生
前年対比	1件増		
種別	27件	16件	11件増
損害額	15件	6件	9件増
千代田	3件	11件	8件減
千代田	5件	14件	9件減
邑楽	10件	12件	2件減
総額			29,476千円
板倉			284千円
明和			1,809千円
千代田			2,564千円
邑楽			8,736千円
本年計			65,147千円
前年計			183,568千円
対前年			118,421千円減

先程、テーブルにお配りした資料ですが、火災の発生状況ということで、令和7年の発生状況は60件ほどありました。館林は27件ありまして、板倉が15件、明和が3件、千代田が5件、邑楽が10件となっています。損害額は参考程度に見ただけであればと思います。火災があれば必ず原因調査を行い、損害額の調査も本署で行っています。

今一番、消防の方でお伝えさせてもらっているのが、焚き火からの火災が多くなっています。自宅の枯れ草とか田んぼの枯れ草を燃やして、自分の母屋に火がついてしまったという事例が非常に多くなっています。焚き火、野焼きは禁止されていることをご承知いただければと思います。

次に消防の取り組みとして、先程、通報を受けたときに救急車だけ出動するのではなく、通報者の内容を聞きまして、例えばマンパワーが必要であるとか、命の危険性、意識がない、こちらはCPAと言いますが、心肺停止状態のときは、どうしても機材とか、人手が必要になりますので、今は消防車と一緒に救急車も出動するように判断しています。聞き取りながら、息していますとかしていませんとなったとき、私達は瞬時に判断して車両を追加させて、2台体制で出動させます。あとはドアが開いていないとか、1人暮らしで鍵が全部かかっている場合には、今度は救助隊というレスキューをつけて、鍵の破壊であったり、2階からはしごで登って入っていったり、瞬時に判断して出動をかけます。現状この様な状況です。交通量が多い国道354線での交通事故では、交通整理も実施しなくてはならないので、消防車も一緒に出動させたりします。

通報から出動までの流れを図にしてみました。119番通報があつて受信します。次に災害種別の決定、火災なのか救急なのかの判断と、災害場所を決めます。

その時点で自動的にパソコンに入力しますと、予告指令といって、この辺りで事件がありましたよと、各所に自動的に行くようなシステムになっています。その後、車両の編成、追加の人が必要なのか、交通事故ですと2、3人、怪我人が出たりしますので、救急車を2台3台出すこともありますので、車両の編成をします。そして初めて出動という命令を私達は出します。瞬時に判断をしなければいけない仕事となります。

本日少し知っていただきましたかったことは、困った119番通報が最近多くなってきています。火災、救急とは関係はないですが、お腹痛い、病院どこですか？という119番を使って聞いたり、救急車を呼ぶかどうか、迷っているという119番が多いです。今は#711番という、病院の方が判断する電話がありますので、消防は医療的な話ができない立場にありまして、こういう症状だから、どうしたらいいですかと言われても、答えにくいところがあります。倒れている、呼吸がないとか命の危険のときに119番にかけてもらうような形の方がよろしいかなと思います。わからない場合はテレホンサービスとか、代表電話にこの様な案件で聞きたいとかけていただければと思います。

あと、間違って119番にかけてしまうことが結構あります。今は携帯電話を落とすと人が倒れたと判断して、自動的に通報してくれるシステムを使っている携帯電話キャリアさんがあります。たまに間違えてかかってくる場合があります。私達はその通報が本当に倒れてるのか倒れていないのかを電話でしか判断することができませんので、必ず受けます。出動し大丈夫だったということももちろんありますし、かかってきて無言であったり、切れてしまう場合は必ずコールバックします。そのときは安心して出ていただき、間違っかけてしまったと言ってもらえれば幸いです。

そしてお願いが1つあります。困った通報事例動画がありますので見ていただければと思います。

(動画再生中)

(動画終了)

一方的に話しをして、電話を切られる方が結構います。通報のときに心がけていただくことは、私達がゆっくり質問しますので、1個ずつ落ち着いて答えてもらえればと思います。慌ててしまうと、うまく伝わりませんので、私達も心を落ち着けて、うまく話し、礼節を持ちながら対応しております。この様な通報事例

がありますということを知っていただければなと思います。

先程の動画にもありましたように、要望の多い事例でサイレンを鳴らさないで来てもらえませんか？という事例が多くあります。世間体を気にされると思いますが、道路交通法でサイレンを鳴らさないといけないと法律で決まっております。通報者には必ずお断りするようにしています。法律で決まっておりますのでご了承ください。一時的な近所の目よりも命の方が大事です。命を優先すると思っていただければと思います。サイレンは絶対に鳴らさないといけないと一つ覚えていただければと思います。

最初お話しした通り、空白の9分間は、要するに私達が通報を受けてから、現場に到着するまでの時間。先程9分ぐらいかかると申し上げましたが、消防がどうしても手出しができない空白の9分間というのがあります。いかにそれを埋めようということ私達、通信指令課および現場対応課も含めて、毎日考えて活動しております。

その例ですが、指令員が電話が繋がっていますので指令員が口を出すことで、お手伝いをすることがあります。先程言ったように、こちらの質問にまず答えてもらい、落ち着いていただければ、私達が指示を出したりすることができますので安心してもらい、口頭指導と言いまして、例えば意識呼吸がないというときには、心臓マッサージを開始してくださいということで、やり方や他指示をお伝えします。出血がある場合は、血が止まらないときは、この様に止血してみてくださいというお話もします。必ず電話口でサポートしますので、行動に移すかどうかは皆様、通報者次第になりますが、私達は思った通りに対応してるかどうかは音声ですのでわからない現状になります。昨年度、館林地区消防で取り入れましたのが、ライブ119という装置になります。こちらがかなり有効になります。電話口だと状況もわからない、音声だけで全てを想像して判断していたことが、今はスマートフォンの普及によって、それが僕らの目になってカメラによって現場を映し出してくれることができるようになりました。見えない現場から見える現場にということで、これからその紹介動画をちょっと見ていただきます。ケーブルテレビさんと共同で作らせてもらった動画です。

(動画再生中)

ケーブルテレビをご覧の皆様こんにちはデバイス主消防組合通信指令課の渋沢拓海と申します。今回、通信指令課にいる新しく導入されたライブ119の紹介をさせていただきます。ライブ119は、これまでの音声のみの119番通報に加え、現場の状況を映像で送信していただくことで、消防がより多くの情報を入手することが可能となるシステムです。言葉では伝わりにくい状況を映像で確認できるため、救急車以外にレスキューが必要といった判断ができるだけでなく、急病の方や負傷者の状態を、救急車が到着する前に確認できるため、応急手当を指示することも可能となります。それでは、実際にどのように使用されるのか、ご覧ください。

119番消防です。火災ですか。救急ですか。救急車をお願いします。救急車ですね。そうしましたら救急車を向かわせる住所を教えてください。館林市上赤生田町です。場所確認できました。男性ですか。女性ですか。40歳の男性なんですけど。どうされましたか。休憩室にお伺いしたら、倒れていました。何か他に症状とかがありますか。存じ上げません。その方の大きなご病気とかで何かありますか。糖尿病と聞いたことがあるんですけど、後はわかりません。糖尿病ですね。わかりました。そうしましたらお使いのお電話スマートフォンですか。はい。多少の通信料がかかってしまうのですが、現場の状況を撮影して送信していただけますか。わかりました。はい。ありがとうございます。それではまず普通のスピーカーにしてください。これからショートメールにURLを送りますので、受信したURLを開いて、承諾して次へをタップしていただき、その後は許可をタップして画面を進めて行ってください。最後に、赤い賛成ボタンが真ん中に表示されますので、それをタップして撮影を開始してください。はい。こちらで確認できてます。ご協力ありがとうございます。それでは救急車が向かってますので、電話を切ってお待ちください。最後に通報者ということで、あなたのお名前を申してください。

ライブ119はご覧いただいたような場面だけでなく、火災現場や急病人で意識がないといった場面でも活用することができます。スマートフォンからの通報が条件となりますが、具体的にどのような操作が必要になるのか見ていきたいと思います。119番通報は必ず電話番号が表示されます。携帯電話からの通報の場

合は、スマートフォンを利用しているか確認します。スマートフォンからの通報の場合は、若干の通信料がかかること、映像の送信に協力いただけるかを確認します。承諾いただけたら119番通報を続けながら画面を操作してもらう必要があるため、スピーカー通話に切り替えるようお願いをします。この操作がわからないスマートフォンに不慣れな方の場合は、ライブ119の活用は見送らせていただきます。スピーカー通話に切り替えられたら、通報電話番号のショートメールサービスにライブ119を起動させるURLを送りますので、メールを開いてURLをタップしてください。URLをタップすると、承諾を求められますので、省略して次へをタップしてください。いくつか許可を求めるメッセージが表示されますので、許可をタップして進んでください。画面の向きを変える表示は気にしなくても結構です。画面の中央に赤い撮影ボタンが表示されたら、そこをタップしていただくと、撮影と映像の送信が開始されます。皆様から119番通報を受けたら、音声通話だけで迅速に救急車や消防車の操作をします。ライブ119は必ず使用するわけではありません。映像を見ながら応急手当の指導をしたり、方法がわからない方にはこちらからの応急手当の画像を送信することも可能です。

交通事故や火災現場では、撮影に夢中になって現場に近づくと危険ですので映像を見て危険と判断した注意を促す画面を表示したり、使用を中止する場合があります。消防の災害対応は、119番から始まります。慌てず落ち着いて、私達がお聞きする内容にお答えください。命を守る行動へのご協力をお願いします。  
(動画終了)

以上となります。今のがライブ119と言いまして最近かなり有効に使わせてもらっています。口頭ですと心肺蘇生のやり方がわからないという方に、相手の携帯に映像を送ることもできます。このようにやってくださいということで、その人は携帯電話を見るだけで、真似して心肺蘇生で社会復帰できたというパターンも何件かあります。火事の状況も、何が燃えているのかも、口頭で伝えるのが難しく、そういったときにライブ119がかなり有効になりまして、どのぐらいの規模の隊を出動させたらいいかを判断することができるようになりました。今、最先端の通信支援の装置として、ライブ119はすごく有効に使われておりますの

で、今後周知していただいて、活用していただければ  
と思っております。

現場と通信指令課の取り組みといたしまして、先程  
の9分間を埋めるために何をしているのかといいます  
と、通信指令課は状況を知って、現場に無線でいろ  
ろ情報を伝えます。何歳の男性が何で倒れていると  
いうことを無線で伝えます。通報者から指令員が現場  
を聞き取って、救急隊に伝えることは一つ有効にな  
りますが、結局、救急隊の方が情報を取得するかが大  
事になってきます。要は伝言ゲームになってしまうわ  
けです。通報者がいて、通信指令員がいて、それを救  
急隊に伝えるということが今までの流れでありまし  
た、言葉だと伝わりにくいことがありますので、救急  
隊が通報者の方に直接電話をする取り組みが始まっ  
ています。要するに場所とある程度の内容がわかれば、  
あとは救急隊の人がその方の症状を知ることが一  
番有効なわけです。よって、出動させるときに、相  
手の通報番号が救急隊にわかるようになっておりま  
して、救急隊隊長は出動しながら相手に電話をかけ  
て、聞きながら、空白の9分間、相手の状況がどう  
かを、現場の隊員が把握する試みが今進んでいます。  
これをプレライバルコールといたしまして、事前に電  
話をするという意味になります。今、そういう取り  
組みを行っています。よって、通報した後に、最近  
は細かく聞かず、救急隊に直接聞いてくださいと救  
急隊に指示を出したりすることが増えました。電話が  
繋がると本当に出動してるかどうか。その電話を取  
ってる人が出動していると思込んでる方が多く、イ  
ライラする方も多いです。それを防ぐためにも、こ  
ういった取り組みをさせてもらっております。本日  
は通信課の仕事を説明させていただきました。内容は  
これにて終了となります。最後に何かご質問があ  
れば申しただけると幸いです。ご清聴ありがとうございました。



小池 和敏 S・A・A

### <本日のお食事>



バターチキンカレー

- ◆例会日 毎週金曜日 12:10 より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林 (館林市文化会館  
内)  
館林市城町 3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内  
館林市本町 1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail [tatebayashi.rc@cc9.ne.jp](mailto:tatebayashi.rc@cc9.ne.jp)

- 第 2840 地区ガバナー 竹中 隆
- 会 長 本島 克幸 副会長 山本 樹
- 幹 事 藤島 厚 副幹事 中世 吉昭
- 会報 委員 森田信一郎 齊藤 正人
- 発行責任者 本島 克幸 編集責任者 森田信一郎